

急告 受講者募集!

～フランス古典様式を忠実に再現した神戸松蔭のガルニエ・オルガンによる～

ミシェル・ブヴァール オルガン公開レッスン

日程: 2009年11月6日(金) 14時～17時

場所: 神戸松蔭女子学院大学 チャペル

〒657-0015 神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1

内容: フランス古典のオルガン作品での実技レッスンおよびレッスン聴講

課題曲: F. Couperin (F. クーブラン), N. de Grigny (グリニー), N. Clerambault, (クレランボー)

L. Marchand (マルシャン) のオルガン作品から選曲すること。

受講資格: 音楽大学等で専門的にオルガンを学んでいる(学んだ)者。あるいは同等の実力を有するもの。

受講料: ¥10,000 (定員5名、レッスン時間一人 約30分)

聴講料: ¥2,000 (定員30名)

当日現金にてお支払いください。

応募方法:

受講希望者は、必要事項を記入し、ファックス、電子メール、郵送のいずれかで10月20日(火)までに下記宗教センターまで申し込むこと。定員に達した場合、書類選考の上、受講者を決定し通知します。

聴講希望者は、宗教センターまで申し込むこと。先着順で30名まで受け付ける。

問い合わせ: 神戸松蔭女子学院大学 宗教センター

TEL 078-882-6124 FAX 078-882-6136



ミシェル・ブヴァール Michel Bouvard

1958年フランス リヨン生まれ。オルガニストで作曲家でもあった祖父より音楽への情熱を受け継ぐ。ロデズとパリでピアノを学んだ後、オルガンをアンドレ・イゾワールに、和声、対位法とフーガをパリ国立高等音楽院にて学ぶ。パリのサンセブラン教会の副オルガン奏者として、ミッシェル・シャピユイ、フランシス・シャプレ、ジャン・ボワイエのもとで更に研鑽を積んだ後、10年以上にわたり正オルガニストを務めた。83年トウールーズ国際オルガンコンクールで1等を獲得。85年トウールーズ国立音楽院オルガン教授となる。前教授グザビエ・ダラスの遺志を受け継ぎ、トウールーズに豊富に残る17世紀来の各様式のオルガンを活用し、コンサート、マスタークラス、国際コンクールなどを開催。これらの努力は、名高い“トウールーズ国際フェスティバル”として結実し、自らも4年にわたり音楽監督を務めた。オルガニスト、また教師として20を超える国々で演奏を行っており、一流のオルガンコンクールの審査員としても数多く招かれている。95年からはパリ国立高等音楽院のオルガン教授。96年より歴史的なカピエ=コルのオルガンがあるサンセルナン教会の正オルガニスト。